

# 地域連携だより



●社会医療法人有隣会 東大阪病院 地域連携部

〒536-0005 大阪市城東区中央1丁目7-22

TEL06-6932-0369(直通) FAX06-6932-0086(直通)

<https://www.yurin.or.jp/>

2022 vol. 90 寅

## 新年のご挨拶

新型コロナ禍のご時世が続きますが、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は有隣会に多大なご協力、ご厚情をいただきありがとうございました。

2021年は新型コロナウイルス感染症に明け暮れた1年でした。治療薬もなく、ワクチンもなく、マスクや予防着にも事欠く状態のなかでしたが、これこそが地域社会に貢献する最大の使命と考え、法人一丸となってコロナ医療に取り組みました。具体的には、コロナ肺炎の中等症患者さんの入院加療を行いながら、一般診療も通常どおり行うという難しい課題に取り組んでまいりました。

<具体的な方策としては>

- ①陰圧装置付感染患者用病室の拡張整備。
- ②抗体カクテル療法を導入し、コロナ感染者の治療を迅速に行う。
- ③院内勉強会を通して全ての内科医が新型コロナ肺炎の治療を行えるようにする。

以上の対策を充実させ、今年も急に発熱された患者さんの救急受け入れ要請を断ることなく、地域医療を担う病院としての社会的役割を果たしていく所存です。

東大阪病院 理事長・院長

北野 均



陰圧装置



新病院完成予想図

話はかわりますが、今年の春にいよいよ新病院建設工事が着工し、2023年7月には竣工予定、10月1日開院予定です。新病院では、救急と急性期機能をさらに強化しようと考えております。救急搬送された患者さんが、入り口からCTやMRIなどの検査までスムーズに移動できる効率的な動線を確認しています。また、感染症救急にも対応できるように救急入口に陰圧室を設けています。

2022年は、コロナ医療の更なる充実に加えて、救急医療、急性期医療、がん医療、リハビリテーションを軸に、さらに地域医療に貢献できるような病院づくりを目指してまいりますので、引き続き皆様のご助言、ご指導をよろしくお願い致します。

## 地域連携部からのご挨拶

新年あけましておめでとうございます。いつも東大阪病院に多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で、2年連続 病診連携懇親会を開催できず、先生方とお会いする機会も減少しております。そんな中でも当院を信頼し、ご紹介頂けています事に改めましてお礼申し上げますとともに感謝致します。

昨年は当院がお世話になっておりました先生方がクリニックを閉められるケースが続き、非常に悲しく残念な思いをたくさん経験致しましたが、城東区を中心に新規開院のクリニック様も多くあり新たな出会いと新たな連携に気を引き締めて望ませて頂いた一年でもありました。

先月の地域連携だよりでご報告させて頂きましたとおり、当院も来年・2023年の10月に新病院に新築移転致します。設計・工事とも予定どおり進んでおり、その進捗も含めて先生方に適時ご報告が出来ればと考えております。

冬のご挨拶で先生方をご訪問させて頂いた際にも、新病院に対してのご質問が非常に多くありました。今回はその際に先生方から頂きました質問の一部をQ&A形式でご紹介させて頂きます。

### Q1：新病院では発熱患者の対応はどうなりますか。

A1：新病院では陰圧対応の救急診察室を準備しています。また急性期病棟での個室も現在より9床増床しますので今よりも発熱患者さんの入院・外来患者さんを受入しやすくなります。

### Q2：今駐車場がありませんが、新病院では駐車場はありますか。

A2：敷地内に駐車場を設置予定です。台数は一般車両で18台ほどを計画しています。

### Q3：病棟機能はどうなりますか。

A3：病棟機能は急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、障害者病棟で今までと変わりません。

### Q4：緩和ケア病棟はどうなりますか。

A4：緩和ケア病棟は23床で全室個室となり、14床は無料個室となります。ご家族との時間をすごしていただきやすい環境を提供できます。

### Q5：回復期リハビリテーション病棟はどうなりますか。

A5：病床数は現在より5床増やし60床となります。また個室も4床準備していますので、個室希望にも対応できます。また、ベランダスペースを確保し庭園として散歩・リハビリができる空間を実現しています。

### Q6：検査設備は全部新しくなりますか。

A6：CT、MRIは新しくする予定です。性能はCTが64列、MRIが1.5テスラを計画しています。それ以外の検査機器は現在検討中です。

### Q7：救急車の受入を積極的にされていますが、新病院の救急受入体制はどうなりますか。

A7：現病院では救急診察室は1室、敷地内で救急車をとめるスペースも1台分しかありませんが、新病院では救急診察室を3室、さらに陰圧の救急診察室を1室、また敷地内の救急車専用駐車場は3台分確保しており、今まで以上に積極的に救急車を受入れていきます。

ご質問の一部をご紹介させて頂きましたが、上記以外でも先生方から様々なご質問を頂戴いたしました。その期待の大きさに私たちもあらためて地域に貢献できる、地域医療のお役に立てる病院を目指さねばならぬと決意を新たにいたしました。私たちが独りよがりにならないように。先生方から頂いた新病院への要望、期待を実現するよう取り組んでまいりたいと思っています。

まだまだ、収束のみえないコロナ禍ではありますが、今年も先生方との連携をよりスムーズに図れるように地域連携部一同頑張ってみますので、よろしくお願い致します。